



即位の礼にみる 日本の伝統の重み

心
あ
つ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

NMCAA
NO3

即位の礼では、日本の奥深い文化が継承されていることに、誇りを感じた方も多かったと思います。その歴史が

A e r a . d o t . g o o

紹介します。天皇の即位に際していわゆる三種の神器を受け継ぐ儀式の原型は古墳時代からあったとみられるそうです。即位の儀式が整ったのは、7世紀後半の天武天皇のころだそう。唐の皇帝の即位儀礼をモデルにした。儀式の時の万歳三唱もこの頃から続いているそうです。明治天皇の即位の時に、天皇の装束は唐風の礼服を廃して和風の黄櫨染御袍（こうろぜんのごほう）を用い、前庭に飾り立てる旗類も唐風を廃して神式の神（ぎ）（かき）に飾り布を垂らす幣（へい）（い）（き）というシンブルなものに改めました。祝賀御列の儀パレードが始まったのは、記憶にある平成の時代が初めてだったそうです。さて天皇が身に着ける古式装束 黄櫨染御袍は、

即位式のほか、祭祀でも用いられるそうです。これは天に太陽が上った色で、東宮皇太子が身に着ける、淡い黄みがかつた緋の黄丹袍は、上りゆく朝日と表現した書物もあるそうです。秋篠宮さまの装束でした。

世界からの日本

海外では好意的な報道で注目も大きかったようです。中国では5千年の歴史を持つ中国は伝統文化をとうに失ってしまったというらやむ声もみられた。英国は東京の空に虹が現れたとSNSの投稿写真や、皇居周辺に駆けつけた男性の「歴代の天皇陛下よりも身近に感じる」という声を紹介。仏紙フィガロは、万歳三唱について、万歳とは1万年を意味し、天皇の健康長寿を願うものだ」と説明。英紙ガーディアンは徳仁天皇の即位は、令和 美しい調和」という彼の治世が皇室を穏やかな近代化の時代に導くものとして期待されている。そして皇室を一般の人々に近づけるために尽力した明仁天皇の努力を継続すると示唆していた」とした。欧米メディアは、即位について歓迎ムード一色だった。

アメリカの天皇制研究のルオフ氏は、世界にはきれいな水を飲めない貧しい国が多すぎます。日本人は新天皇がなぜ水問題に関心を持つのか、ピンとこないかもしれないですが、世界では水不足が原因で戦争も起きますし、また水不足は地球環境の問題でもあります。その解決に取り組めば日本の評価を高めることにつながるはずです」と語る。週刊ポストより

編集後記

国民の叡智とたゆまない努力によって、我が国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望いたします」というお言葉を世界のかなかの日本として受け止めたいと思いました。